

東京エリア Debian 勉強会

資料

上川 純一 dancer@debian.org
IRC nick: dancerj

2006 年 8 月 19 日

本日の agenda

- 注意事項
 - 飲食禁止
 - 政治/宗教/営利活動禁止
- Social Contract 唱和
- 事前課題紹介
- quiz
- Debian Conference 進捗報告
- Lightning Talks

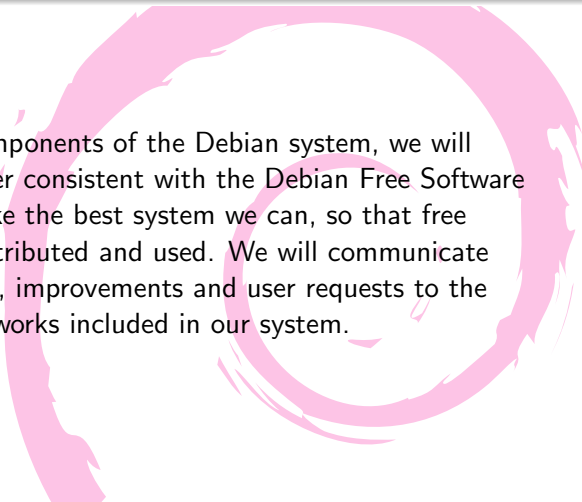
祝 13 執念

- 8/16: Debian 13 年目の誕生日

1. Debian will remain 100% free

We provide the guidelines that we use to determine if a work is "free" in the document entitled "The Debian Free Software Guidelines". We promise that the Debian system and all its components will be free according to these guidelines. We will support people who create or use both free and non-free works on Debian. We will never make the system require the use of a non-free component.

2. We will give back to the free software community



When we write new components of the Debian system, we will license them in a manner consistent with the Debian Free Software Guidelines. We will make the best system we can, so that free works will be widely distributed and used. We will communicate things such as bug fixes, improvements and user requests to the "upstream" authors of works included in our system.

3. We will not hide problems

We will keep our entire bug report database open for public view at all times. Reports that people file online will promptly become visible to others.

4. Our priorities are our users and free software

We will be guided by the needs of our users and the free software community. We will place their interests first in our priorities. We will support the needs of our users for operation in many different kinds of computing environments. We will not object to non-free works that are intended to be used on Debian systems, or attempt to charge a fee to people who create or use such works. We will allow others to create distributions containing both the Debian system and other works, without any fee from us. In furtherance of these goals, we will provide an integrated system of high-quality materials with no legal restrictions that would prevent such uses of the system.

5. Works that do not meet our free software standards

We acknowledge that some of our users require the use of works that do not conform to the Debian Free Software Guidelines. We have created "contrib" and "non-free" areas in our archive for these works. The packages in these areas are not part of the Debian system, although they have been configured for use with Debian. We encourage CD manufacturers to read the licenses of the packages in these areas and determine if they can distribute the packages on their CDs. Thus, although non-free works are not a part of Debian, we support their use and provide infrastructure for non-free packages (such as our bug tracking system and mailing lists).

ユーザの声

自分は元々redhat9 から Linux を使い始めた人間なのですが apt ・ dpkg や update-alternatives ・ kernel-package 等のシステム管理のパッケージが気に入っています。独自の使い方やルール等の感覚をつかむまでよくわかりませんでした。これらのパッケージの存在のお陰でシステムの基盤をお好みに構築するのは他ディストリビューションと比べても結構スムーズに出来る気がします。システムの依存関係もめっちゃくちゃになりにくいのも助かっています。

ユーザの声

私が、最近感銘を受けたパッケージは、現在 Debian のオフィシャルパッケージではないが、howm (一人お手軽 Wiki もどき) だ。ソースファイルを見てみたら、GPL だと書かれていてユーザーも多いみたいなので、将来的には Debian のオフィシャルパッケージになるのではないかと思います。大学に入るまでは、PDA である VisorEdge を使って、予定やちょっとしたメモを取ってきたが、Linux を本格的に使うようになってから、コマンドが多く適当にディレクトリーを使って、雑文を保存していた。しかし、最近検索機能などもつけたいし、予定や todo としての機能も使いたかったので何か Emacs 上で良いソフトがないか調べていたら、howm を知った。howm は、リンク機能、そして検索機能などもあり、メモを書くにはかなり便利なソフトだと思われる。

ユーザの声:添削後

私が、最近感銘を受けたパッケージは、現在 Debian のオフィシャルパッケージではないが、howm (一人お手軽 Wiki もどき) だ。ソースファイルを見てみたら、GPL だと書かれていてユーザーも多いみたいなので、将来的にはわたしが *Debian* のオフィシャルパッケージにする予定。大学に入るまでは、PDA である VisorEdge を使って、予定やちょっとしたメモを取ってきたが、Linux を本格的に使うようになってから、コマンドが多く適当にディレクトリーを使って、雑文を保存していた。しかし、最近検索機能などもつけたいし、予定や todo としての機能も使いたかったので何か Emacs 上で良いソフトがないか調べていたら、howm を知った。howm は、リンク機能、そして検索機能などもあり、メモを書くにはかなり便利なソフトだと思われる。

ユーザの声

「Debian 誕生日」って具体的には何時だろう?… という事で、Google 様に聞いてみると、「Debian 5 回目の誕生日!」という 1998 年 08 月 13 日の Debian ニュースの記事が見つかった。と言う事は 1993 年 08 月 16 日が誕生日って事ですね。

13 歳というと、人間で言えば小学校卒業して中学生になった頃でしょうか? 人間ならばこの頃には、相手がアホでも相手に合わせて会話が出来ようになるので、Debian も私のようなアホにも愛想良く簡単に使えるようになって頂ければ嬉しいなぁ~、と思います。

なにはともあれ、13 年目、めでたい事です。

ユーザの声

なんだか知らないが時間ばかり過ぎている自分と比べて徐々に成長しているような気がする「Debian」はすごいなぁと思う。最初期から活動してきた人とかはどんどん減って新しい人がどんどん入っているのかなぁ(日本除く)と思う。

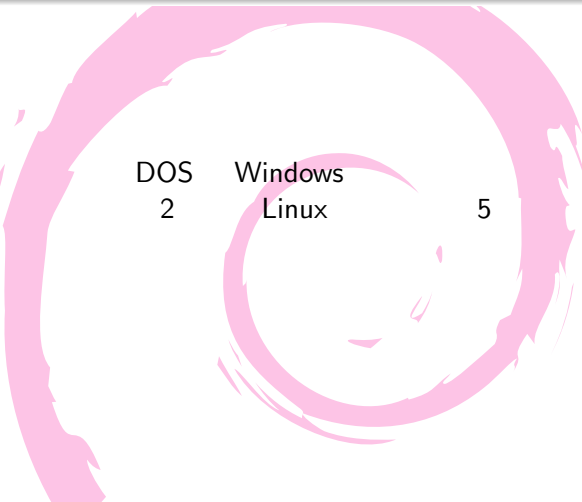
13周年というと、徐々に枯れたプロジェクトになって行くのだろうか？

13歳と言うともう中学生、つまり「チュウボウ」なので、反抗期みたいな尖ったプロジェクトになって行くのだろうか？

今年(?)はetchをリリースするようだけど今後の安定的なリリースのために大きな一歩になる年になるのだろうか。

今年も楽しいなプロジェクトです。今年こそもう少しなんかできるといいなぁ。

ユーザの声



13周年ですか、13年前はまだDOSとWindowsしか知らなかったです。Debianは使いはじめて2年強、Linux自体もまだ5年そこそこの新参者なので恐縮ですが、今後ますます発展してほしいです。まずは自分の周りの人間を引き込むところから始めます。

ユーザの声

あれはたしか小学校高学年、あるいは中学校に入学した直後だったと思う。ちょうど算数・数学で x を用いた方程式を学習する時期であった。導入として以下のような問題の解き方を考えさせられた。同じような問題を解かされた方も少なくないと思う。

龍三郎さんは現在 47 歳です。香織さんは 21 歳です。龍三郎さんの年齢が香織さんの年齢のちょうど倍になるのは何年後でしょう。答えは以下の方程式を解くことで求められる：


$$47 + x = 2(21 + x), x = 5$$

さて Debian は 13 歳の誕生日だそうだが、Debian の年齢とみなさんの年齢を用いてこの方程式を組み立て、解いてみていただきたい。今、日本の Debian 開発者、OSS 開発者に特に求められているのは $x < 0$ の人材ではないだろうか。 $x < 0$ の方々には堂々と胸を張って大いにあばれていただきたい。

ユーザの声

かくいう私は $x = 3$ です。失礼しました。

ユーザの声



数年前までは Debian ? Linux ? ハァ ? という感じでしたが、今ではどっぷり使って Debian を開発する側に回ってしまいました。今ではもっと先に Debian と戯れていたらなぁと思っています。13 終年にならないよう、今後がんばっていけたらなぁと思います。

ユーザの声

忘れもしない C マガジン 1995 年 10 月号特別付録 CD-ROM に収録されていた Linux/TOWNS から始まった Linux 生活。本誌に掲載されていた Linux 解説記事の著者が鵜飼さんだったことは Debian に繋がる見えない道標だったのでしょうか。

13 年の歴史の中で様々の障害に取り掛かり乗り越えてきたのだと思います。ソフトウェア特許は難しいながら長年の課題としてあり続けてきたものですが、私にとって予想外だったのは FDL との衝突でしょうか。GPLv3 も今年中にはっきりとした形を見せてくる予定だったと思います。

これからもオープンソースライセンスに関して Debian の主導的振舞いに期待しています。

問題を解いてください

- 3 分間



Intro
事前課題の声
DWNQuiz
Debian Conference 進捗報告
Lightning Talks
グループワーク
wrap-up

各自解答
2006 年 25 号
2006 年 26 号
2006 年 27 号
その他

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/25/> にある 6 月
20 日版です。



問題 1. Isaac Clerencia さんは、スペインのサラゴサ市当局が、6 ヶ所ある場所に Debian ベースのシンクライアントを設置したと報告しました。その場所とはどこでしょうか

- A ラーメン屋
- B コンビニエンスストア
- C 老人ホーム

問題 1. Isaac Clerencia さんは、スペインのサラゴサ市当局が、6 ヶ所ある場所に Debian ベースのシンクライアントを設置したと報告しました。その場所とはどこでしょうか

- A ラーメン屋
- B コンビニエンスストア
- C 老人ホーム

答えは:

C

問題 2. Yaroslav Halchenko さんが Debian Package 内のあるファイルが圧縮されていて、読むことが出来ないと気がつきました。そのファイルとは何でしょうか。

- A Word ファイル
- B PDF ファイル
- C SREC ファイル

問題 2. Yaroslav Halchenko さんが Debian Package 内のあるファイルが圧縮されていて、読むことが出来ないと気がつきました。そのファイルとは何でしょうか。

- A Word ファイル
- B PDF ファイル
- C SREC ファイル

答えは:

B

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/26/> にある 6 月
27 日版です。



問題 3. 9 月にイタリアのある都市で Debian コミュニティカンファレンスがおこなわれます。そのある都市とはどこでしょう。

- A ベニス
- B デセンツァーノ・デル・ガルダー
- C カリブ島

問題 3. 9 月にイタリアのある都市で Debian コミュニティカンファレンスがおこなわれます。そのある都市とはどこでしょう。

- A ベニス
- B デセンツァーノ・デル・ガルルダ
- C カリブ島

答えは:

A

問題 4. 最近セキュリティチームのメンバーが増えました。それはだれでしょうか。

- A Steve Kemp
- B Hidehazu Koiwa
- C Andreas Barth



問題 4. 最近セキュリティチームのメンバーが増えました。それはだれでしょうか。

- A Steve Kemp
- B Hidehazu Koiwa
- C Andreas Barth

答えは:

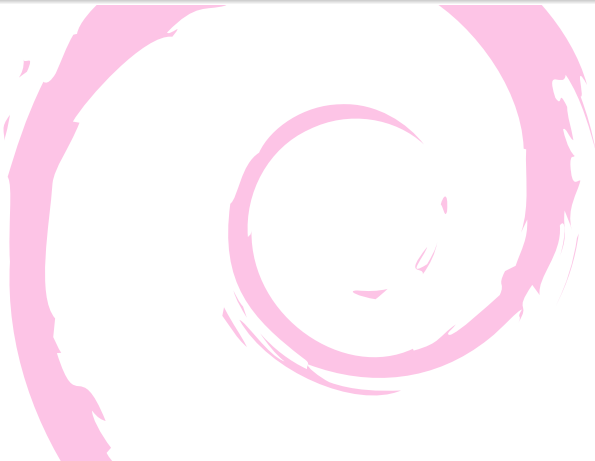
A

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/27/> にある 7 月 4 日版です。



問題 5. 最近また新しい OS に Debian を移植している噂があるらしい。それはどの OS か？

- A Plan9
- B Minix3
- C Mona



問題 5. 最近また新しい OS に Debian を移植している噂があるらしい。それはどの OS か？

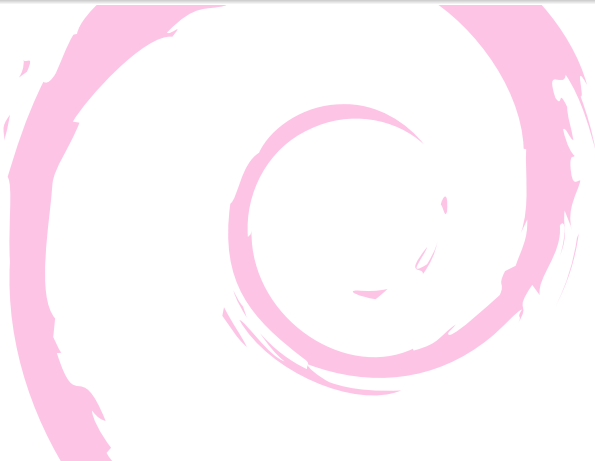
- A Plan9
- B Minix3
- C Mona

答えは:

B

問題 6. Paul Wise さんがあたらしいグループを作成しました。それはどのグループか？

- A debian-smoker
- B debian-soccer
- C debian-flash



問題 6. Paul Wise さんがあたらしいグループを作成しました。それはどのグループか？

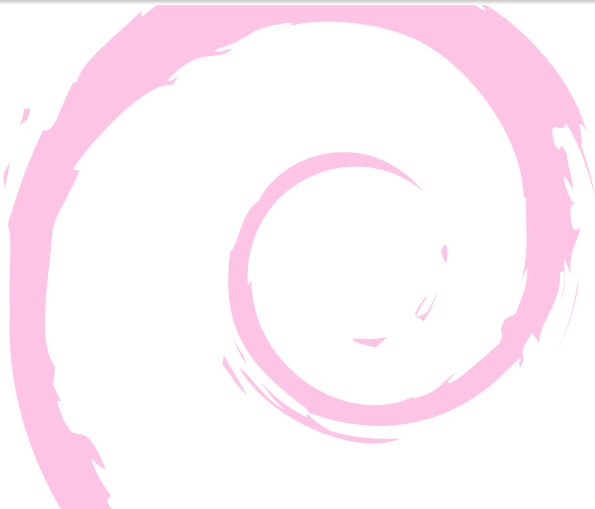
- A debian-smoker
- B debian-soccer
- C debian-flash

答えは:

C

問題 7. 8/16 に 13 周年を迎えたのは

- A Debian
- B 山下さん
- C 外苑花火大会



問題 7. 8/16 に 13 周年を迎えたのは

- A Debian
- B 山下さん
- C 外苑花火大会

答えは:

A

Intro
事前課題の声
DWNQuiz
Debian Conference 進捗報告
Lightning Talks
グループワーク
wrap-up

Debian Conference 進捗報告



Lightning Talks

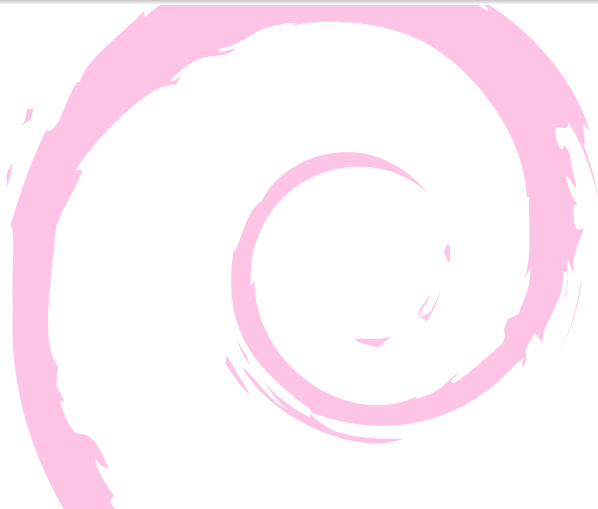
- パッケージメンテナンス遍歴から見た Debian 史 野首さん
- IPv6 吉田@板橋さん
- 未定 henrich さん
- module-assistant パッケージ作成方法
- board@jp お仕事日記

今回は試験的にコメントをメモする欄をおいているので後でコメントを記入、後日メールで投稿お願いします

Intro
事前課題の声
DWNQuiz
Debian Conference 進捗報告
Lightning Talks
グループワーク
wrap-up

野首さん
吉田@板橋さん
山下さん
henrich さん
dancerj
board@jp お仕事日記

パッケージメンテナンス遍歴から見た Debian 史



Intro
事前課題の声
DWNQuiz
Debian Conference 進捗報告
Lightning Talks
グループワーク
wrap-up

野首さん
吉田@板橋さん
山下さん
henrich さん
dancerj
board@jp お仕事日記

IPv6



山下さん

誕生日に思うこと



Intro
事前課題の声
DWNQuiz
Debian Conference 進捗報告
Lightning Talks
グループワーク
wrap-up

野首さん
吉田@板橋さん
山下さん
henrich さん
dancerj
board@jp お仕事日記

henrich さん



Intro
事前課題の声
DWNQuiz
Debian Conference 進捗報告
Lightning Talks
グループワーク
wrap-up

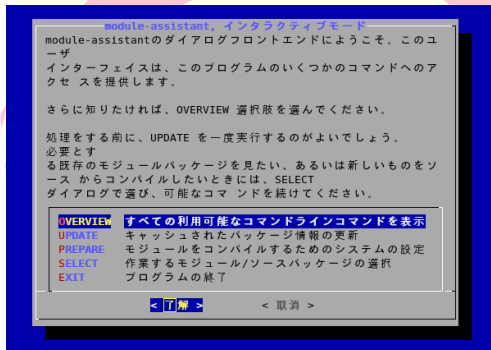
野首さん
吉田@板橋さん
山下さん
henrich さん
dancerj
board@jp お仕事日記

上川



module-assistant

- module-assistant:
カーネルのモ
ジュールをビルド
するフレーム
ワーク
- ユーザ視点：
メニューを選択



使う側から

- m-a prepare
- m-a a-i パッケージ
コンパイルしてパッケージを作成し、インストールするところまでやってくれる！

作る側の視点 1/2

- dh_make 'k' を選択
- XXXX-source パッケージと XXXX-tool パッケージ（必須ではない）を作成
- XXXX-source 用に debian/ディレクトリを持つ
/usr/src/XXXX.tar.bz2 を作成するコードを仕込む。

作る側の視点 2/2

- control.modules.in など： `_KVERS_` を置換
- rules: m-a 用の include をつつこんで、binary-modules でカーネルモジュールを
`INSTALL_MOD_PATH=$(CURDIR)/debian/$(PKGNAME)` 以下にインストールするように。

```
-include $(MA_DIR)/include/generic.make  
-include $(MA_DIR)/include/common-rules.make
```

異

- debian/rules が違う状況で実行されるのでそれなりにデバッグが複雑
パッケージをビルドしてインストールして `m-a a-i` してはじめてデバッグできる
- カーネルのモジュールの作成の仕組み (kbuild) は数年に一回程度は大幅に変更されているので情報においつくのにそれなりに努力必要
- 自分が知らないデバイスが動かないというバグレポートがきても手のうちようが ...

まとめ

- ユーザ側から見て、module-assistant 便利

まとめ

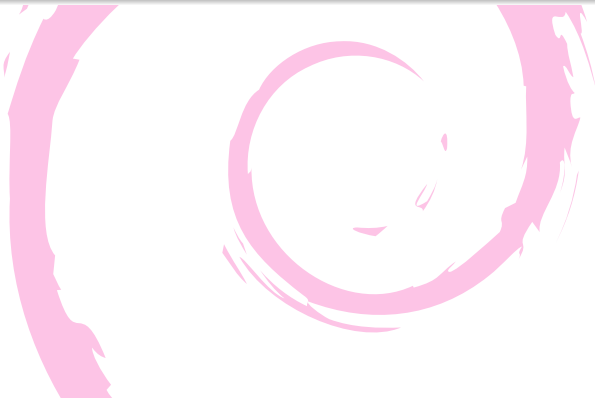
- ユーザ側から見て、module-assistant 便利
- module-assistant 用のパッケージの作成も簡単

まとめ

- ユーザ側から見て、module-assistant 便利
- module-assistant 用のパッケージの作成も簡単
- みんなカーネルモジュールをつかってパッケージにしよう!

board@jp お仕事日記

- ちょうどよい機会なのでどういふことをしてきたか



過去数年間

- board@debian.or.jp にくる SPAM をひたすら読む

過去数年間

- board@debian.or.jp にくる SPAM をひたすら読む
- たまにくる雑誌などの問い合わせにこたえる

過去数年間

- board@debian.or.jp にくる SPAM をひたすら読む
- たまにくる雑誌などの問い合わせにこたえる
- 以下検閲削除

今後

- 決めることはばっさばっさと決めていきます

今後

- 決めることはばっさばっさと決めていきます
- 御協力お願いします

東京エリア Debian 勉強会

資料

上川 純一 dancer@debian.org
IRC nick: dancerj

2006 年 8 月 19 日

今後のイベントの検討

- Debian 勉強会の目的:
- イベントにより期待する効果:
- 必要な行動:

今後のイベント

- OSC 沖縄 12月1日?
- OSC-Fall 10月28日?
- KOF 11月18日
- Debian 勉強会大阪開催 11月19日
- Debian Conference 2007 Edinburgh
- Debian 14周年 2007年8月16日

今日のまとめ

- 気づいたらすでに Debian 13 周年です
- module-assistant 活用してください。
- コメントをメールで送ってください、あとでまとめます。